考古学フォーラム定例会 2022（その２）

古代猿投窯における　井ケ谷古窯跡群を考える

趣旨

　愛知県刈谷市を中心に分布する井ケ谷古窯跡群は、猿投窯井ケ谷地区あるいは「井ケ谷 78 号窯式」として、須恵器研究では広く古代の東国にも知られた存在である。しかし、それまでの尾張東部から西三河へと大きく所在地を変えるなど、特異な面も持ち合わせている。本定例会ではその内実を整理するとともに、立地や技術的系譜について問題提起を行なっていきたい。

日時　令和４年 12 月４日（日）　午後１：００から午後４：３０まで

場所　愛知県陶磁美術館講堂（愛知県瀬戸市南山口町 234 番地）

内容

午後 12:30　開場

午後 1:00～1:05　事務連絡等

午後 1:05～1:30　東海道駅路の成立と古代境川流域の動向　永井邦仁（考古学フォーラム）

午後 1:30～2:20　井ケ谷古窯跡群について　河野あすか（刈谷市歴史博物館）

午後 2:20～2:30　休憩

午後 2:30～3:20　猿投窯における井ケ谷地区について　大西遼（愛知県陶磁美術館）

午後 3:20～3:30　休憩・討論準備

午後 3:30～4:20　討論（司会：永井）

午後 4:20～4:30　事務連絡等

※当日受付にて資料代（600 円）を申し受けます。

問い合わせ　NQC10551@nifty.com（考古学フォーラム事務局　川添）